

学校だより

熱 砂

<発行>
令和2年10月18日
発行責任者：校長
和田 政男

「熱沙祭」は「学習発表会」として行うことにいたします。

コロナの影響で、学校では児童・生徒が在校中は、部外者が立ち入れない状況、放課後でさえも教室等には立ち入れない状況が続いております。

このような状況の中で、一旦12月に延期した熱沙祭も実施できないと判断いたしました。ただし、それに代わる行事として、学習の成果を発表する場は作ってあげたいと考え、「学習発表会」を工夫して行うことを考えております。オンラインでの発表会になりますが、各学年が工夫して日頃の学習の成果を発表いたします。詳細は後日お知らせいたします。

また、学校創立40周年については、記念事業として中庭の整備を行いました。記念品として、全校児童・生徒の顔写真を印刷したクリアファイルを先週、今週と配布しました。記念ポロシャツや記念Tシャツも準備いたしました。延期しておりました記念式典も、現時点では目途が立っておりませんが、オンラインであつても何らかの形で実施したいと考えております。こちらも具体的になりましたらお知らせいたします。

シルクプロジェクトとUAE オリンピック委員会

ドバイ日本人学校は、アブダビ日本人学校やジッダ日本人学校、岩手や東京、大阪の小学校などとオンラインでの連携をしながら、昨年度からシルクプロジェクトを推進しています。

今、日本の養蚕業は消滅の危機にあるそうです。中東地域に日本産シルクの販路を求め、日本の養蚕業の衰退に歯止めをかけられないか。子どもたちの学習や活動がその一助になりはしないか、そんなコンセプトで始まったのがシルクプロジェクトです。

具体的には、子どもたちが蚕を育て、繭を取る。昨年度はG5の児童が、今年度はG3の児童が中心になって蚕を育てました。蚕の種類は日本原産種の「小石丸」という蚕です。その繭から取ったシルクをUAEに紹介する。その第一号がUAEオリンピック委員会です。東京オリンピックに出場するUAEオリンピック選手団が持つUAE国旗や民族衣装に、子どもたちが育てたシルクを使うという契約を結びました。（この活動には縁の下でお世話下さっている方がおります。）

そして、10月14日（水）、ドバイにあるUAEオリンピック委員会に児童・生徒代表7名が行き、オリンピック委員長より認定書の授与が行われました。シルクプロジェクトに参加する多くの学校を代表し、ドバイ日本人学校の児童・生徒が認定書を受け取りました。認証式には、在ドバイ日本国総領事館の関口総領事にもご出席いただきました。

児童・ひとり一人が挨拶の言葉を述べ、出席者から大きな拍手をいただきました。オリンピック委員会の歓待ぶりに、子どもたちは大喜びでした。

100%登校に向けて、その後

10/4 以下の対策をまとめ、KHDAに100%登校を認めていただきたい旨、申請提出

- ・6台のスクールバスの内、2台を大型バスに替え、6路線のバス配置を換えることにより、定員の50%以下の乗車率を守りつつ、児童・生徒全員の乗車が可能になる。

- ・G1～G3、G4～G6、中学部で、トイレ、手洗いの時間を5分ずつずらすことで、共有スペースの密を防ぐ。

- ・現在の児童・生徒数であれば、すべての教室で教室内の社会的距離は保持できる見込みである。

10/5 KHDAより、どれぐらいの保護者が100%登校を希望しているか、調査する旨の指示

10/7 全校保護者向けアンケート実施

10/11 KHDAへ、アンケート結果報告（87%の保護者が100%登校を希望している）

10/12 KHDAへ、13%の保護者の子どもへの支援の在り方を報告

10/13 KHDAより、年度当初の「学校と親の契約」において、13%の保護者は登校での学習、オンラインでの学習のどちらを希望していたか、報告するようという指示

（KHDAへの生徒登録は、KHDAのシステムのエラーにより、多数の生徒の登録が正常に行われていない実態があり、「学校と親の契約」もペンディング状態の生徒が多数いる。従って、上記の報告は円滑に行えず、この点、KHDAに説明して、前に進めるよう交渉中）

※ 40周年記念クリアファイルを配布しましたところ、購入は可能か？との問い合わせがありました。製造原価の5Dhs/1枚でお分けできるそうです。購入希望は、学級担任までご連絡ください。